

■ねぎの殺菌剤

区分	毒性	予防/治療	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	
							系統名
苗浸漬		—	予治	ベンズイミダゾール	ペンレート水和剤	100~200倍 苗根部浸漬	500~1,000g
散布	各種 初期病害	—	予治	抗菌・グアニジン	ポリペリン水和剤	1,500倍	66g
		—	予治	QoI	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	33g
		—	予治	SDHI	アフェットフロアブル	2,000倍	50ml
		—	予	有機塩素	ダコニール1000	1,000倍	100ml
		—	予治	QoI	アミスター20フロアブル	2,000倍	50ml
		—	予治	CAA・有機塩素	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	100g
		—	予	有機硫黄	グリーンペンコセフ水和剤	600倍	166g
		—	予治	CAA・銅	フェスティバルC水和剤	1,000倍	100g
		—	予	Qil	ランマンフロアブル	2,000倍	50ml
	葉枯病 黒斑病 6月下旬 ~8月中旬	—	予治	ベンズイミダゾール	トップジンM水和剤	1,000倍	100g
		—	予治	ベンズイミダゾール	ペンレート水和剤	1,000~2,000倍	50~100g
		—	予治	ジカルボキシミド	スミレックス水和剤	1,000倍	100g
		—	予	ジカルボキシミド	ロブラール水和剤	1,000~1,500倍	66~100g
	さび病 6月下旬 ~8月中旬	劇	予治	SDHI	ミリオネアフロアブル	4,000~8,000倍	12~25g
	軟腐病	—	予	銅	クプロシールド	1,000~1,500倍	66~100ml
—		予治	カルボン酸	スターナ水和剤	2,000倍	50g	
—		予	微生物	マスタピース水和剤	1,000~2,000倍	50~100g	

使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	適用病害虫名								防除上の注意事項	
		小菌核腐敗病	萎凋病	乾腐病	葉枯病	黒斑病	べと病	黄斑病	さび病		軟腐病
定植直前	1	●	●								・5分間苗根部浸漬 ※「500倍、30分間苗根部浸漬」登録もあり。
14日前	3	●			●	●		●			・ネギアザミウマにも登録あり。
7日前	3	●			●	●			●		
前日	2	●			●	●			●		・白絹病にも登録あり。
14日前	3	●			●	●	●		●		
3日前	4				●	●	●	●	●		・リゾフニア葉鞘腐敗病にも登録あり。 ・浸透性の高い展着剤の使用は薬害を生じる場合があるので、事前に適否を確認する。
14日前	3				●		●				16倍;1.6L/10aで無人航空機散布登録あり
14日前	3					●	●		●		
14日前	3							●			
3日前	4							●			
7日前	3	●	●								
30日前	1	●									・使用回数は本圃定植後は1回
21日前	3	●									・株元散布 ・黒腐菌核病にも登録あり。
14日前	3	●					●				・ホトリチス葉枯症にも登録あり。 ・白絹病に500~1,000倍、株元灌注の登録あり。 ・小菌核腐敗病に500倍、株元灌注の登録あり。
前日	4				●	●			●		・株元散布で黒腐菌核病4,000倍、白絹病4,000~8,000倍に登録あり
-	-							1,000 ~ 2,000 ●			・野菜類による登録 ・斑点細菌病に1,000-2,000倍で登録あり。 ・ナメクジ類に1,000倍で登録あり。
7日前	3									●	
前日	-									●	・野菜類による登録 ・微生物農薬なので使用条件に注意する。 特に乳剤の殺虫剤とは混用しない。